

ご協力ありがとうございます！

(敬称略)

【4月の新入会】

井上 悦子 (センター)

【4月の寄付金】

有限会社 マキイ
友池 恒生



【4月の寄付品】

ペルーのディマス、山口由佳理
吉崎かをる、大野タカシ、堤慎一郎
モンゴルのニンジン、脇山校区自治協議会

職員の紹介



はじめまして。立石考子です。
4月から研修課 日本語担当
として働くことになりました。オイスカとの出会いは、約20年前に
地元の中日新聞に掲載された
「フィリピン植林ツアー参加者募
集」の小さな記事でした。その植林ツアーに参加をし、も
ともと興味のあった日本語ボランティアとして関わるよう
になりました。結婚後、日本語教師の資格を取り、現在
に至ります。

自分の日本語に自信はありませんが、だからこそ、勉
強をして、がんばります。がんばれます。相手が違うと教
え方も変わります。勉強に終わりはないそうです。日本
語を教えること、教室でのやりとり、大好きです。そして、
何より、日本語を学んだ研修生が日本語でコミュニケー
ションをし、自分の世界をひろげていく姿を見られたら、
これこそ、日本語教師の本望です。
これから、新しい研修生ともども、どうぞ、よろしく願い
いたします。

日本語の勉強

今年も基礎研修が始まりました。今年は、カタカナ未学習の研修生が
4名いました。まずは、カタカナを覚えることが関門です。自分の名前、
国の名前はカタカナです。テキストに入ってから、アメリカ人のミラー
さん、イギリス人のワットさん、難関ドイツ人のシュミットさんと次から次
へカタカナ語が出てきます。研修生は誰に習ったのか「頭がぐるぐるで
す。」とすでに頭を抱えています。でも、まだまだこれからです。話せるよ
うになると楽しいです。笑顔を忘れず、がんばれ、研修生。(立石 考子)



5月号の予定

- 4日 どんたく出演
- 5日 鯉の会(日本舞踊)見学
- 6日 ラマダン開始 (～6/4)
- 10日 ラハマン、シュクリ技能試験
- 11日 海外研修生入所式
- 12日 環境保全チャリティコンサート
- 15日 技能実習生オークマ配属(1人は26日に配属)
- 16日 佐賀県推進協議会幹事会
- 18日 茶摘み大会
- 19日 脇山走ろう会
- 21日 アトリエ木下撮影会
- 23日 インドネシア中垣駐在代表来所 (～24日)
- 25日 須恵町国際交流協会総会交流会
青連協総会
- 26日 九電プレイフォーレスト舞鶴
- 27日 子ども親善大使受け入れ事業 (～6/2)
- 28日 西日本支部幹事会

鬼木大明神 今月の一句

不安になる時は、楽しいことを考えるのだ！
不満を言いたくなる時は、深呼吸をして我慢するのだ！
日が当たっていない辛い時間こそ
“嫌だなあ”早く過ぎ去ってほしい時間こそ
上を向いて、笑顔で、周りに語りかけよう！
どう生きるかどう過ごすか大事なのだ！
心の底から涙を流せ！！
根気強く、粘り強く、力の限り諦めるな！！
さすれば心の底から本当に笑うこともできる
ようになるのだ！！

喝



日本語授業の様子

まるごと!西日本

発行:(公財)オイスカ西日本研修センター まるごと部
福岡市早良区小笠木 678-1
TEL(092)803-0311 FAX(092)803-0322
E-mail: oiscantc@oisca.org 検索 **オイスカ西日本**

第667号

令和元年5月号付録



←FacebookとInstagramに日頃の様子を更新中！
是非チェックお願いします！



MUFG コース入所式(東京)

4月9日(火)、本年度の MUFG コース 10名(9ヶ国)の入所式を衆議院会館にて行いました。今年で12期生となる
研修生。既に100余名のOB,OG達が各国で活躍しています。

入所式には MUFG より、コーポレートコミュニケーション
部副部長の本裕一郎様、担当の松井様にご出席頂き、
研修生に対して「色々な事にチャレンジして、多くの事を
学んでください」とご挨拶頂きました。長年にわたる人材
育成に対する多大なるご協力にて実施しているプログラ
ムです。来年3月の帰国後、彼らにとって本番スタート
となります。

MUFG の皆さま、これからもよろしくお願いします。(広瀬)

環境保全型農業の指導者育成研修コース
入所式 OISCA



桜島草刈り

4月4日(木)、山の木々の新緑がきれいな時期に、オイスカの植林地がある桜島へ、スタッフと研修生総勢14名で
草刈り作業に行ってきました。

桜島の植林地は、桜島のフェリー乗り場から車で20分ほど行った山の中腹にあり、面積は1haで鹿児島県推進協
議会が中心となって10年前に植林された檜の木は、すでに5メートルほどに成長した立派な森になっています。
木々の成長とともに草の生育はおとなしくなり、以前と比べると草刈り作業もだいぶ楽になりましたが、草の上には降
り積もった灰が草を刈るたびに降りかかってくるので、少し作業をただけで体中が黒くなる有様で結構大変でした。
それでも作業が済んできれいになった植林地と錦江湾の眺めは格別で、そして何
より汚れた身体をきれいにするために立ち寄る温泉は最高に気持ちがよかったです。

これからの森の成長がとても楽しみです。(豊田)



草刈り前の様子

ニコさんが
草刈りをして
いる様子



香住が丘小留守家庭子ども会つみ木広場

4月3日(水)、東区にあります香住が丘小留守家庭子ども会で森のつみ木広場が開催されました。体育館を使用して1時間×2回のプログラムに約70名の生徒が参加しました。同行しましたフィジーのニコさんに手伝ってもらいながら高いタワーを作りました。

今回は珍しく春休みの開催でしたが、夏休みになると数多くの各留守家庭子ども会を回り、研修生と交流しながら、楽しく環境教育ができる人気のプログラムとなっています。(安東)



技能実習生

4月10日 大分県日田市の(有)アイ・アイ・ディ(酪農)様で3年間の技能実習を終えたインドネシアのルスディさんが帰国いたしました。本人にとっても、受入れ事業所様にとってもいいことも、大変なこともあった3年間でしたが、無事に3年間を終了できたことは本人の頑張り事業所様の我慢強い忍耐とご指導があつたことと思います。帰国後は、日本で学んだことを活かして活躍することを期待します。また、機会があれば再来日したいとの希望ものぞかせていましたので、また日本で彼に会えることもあるのか楽しみです。

また、朝倉市の(株)オークマ(建具製作)様へ配属予定の4名の実習生(インドネシア)が3月に入国し現在講習中です。ちょうど冬から春に移る時期でもあり寒さも少し体験し、また満開の桜も満喫することができました。講習中は、日本語を中心に日本で生活する上で必要なことや就労する上で必要な法的な内容についても学びます。(株)オークマ様には、既に4名の先輩実習生がいるので先輩に負けないように頑張れるように残りの講習期間も指導していきたいと思います。(彦坂)

実習中のルスディさん



デニ
9月に22歳になる
趣味は絵を描くこと



グリッド
8月に29歳になる
サッカー



ハイディール
10月に23歳になる
サッカー



ファルル
7月に29歳になる
サッカー

交通安全教室

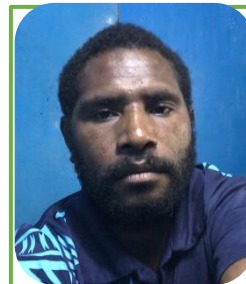
4月26日、早良警察署の方に交通安全教室をしていただきました。

最初に日本の交通ルールを紹介して、その後実際に自転車に乗って練習しました。自転車に初めて乗る研修生も数名おり、最初は危なっかしい感じでしたが何度か乗るうちに上手になっていました。自転車に乗りなれている研修生は早く自転車に乗ってでかけたい!と話していました。日曜日に出かけられることを楽しみにしています。日本の交通ルールを守っているいろいろなところに出かけてみてほしいです。

(園田)



OB 研修生の紹介コーナー ②



Benjamin Yumop です。ニックネームはアツフィ(AFFI)です。AFFI は、A:農業、F:林業、for I:工業どうしてこのニックネームを選んだかという個人的な目的です。2013年度の MUGF 研修生です。当時は27歳でした。今年の9月に33歳になったけどまだ独身です。国へ帰ったらラバウル研修センターで「子どもの森」計画のコーディネーターと苗床

の担当をしました。その後、ふるさとに帰りました。現在、自分のふるさとでリサーチセンターを作って、ホームステイプログラムをしています。現在の仕事は研修相談業務、国際ホームステイプログラム担当、農業と養鶏です。日本からの大学生が8人ぐらい、私の所で勉強に来ています。日本での研修中のアクションプランをしました。私のふるさとのメンバーから支援がなかったです。でも、今はまた行って、ローカルの人々と一緒に土地をきれいにしています。ここの地域の少年達が自立できるようになるために研修を行いたいと思います。私のプロジェクトは NIMA ARA 協会から支援を頂いています。日本での研修の成果がとても大きいです。リーダーシップが出来て、有機農業技術を勉強して、仕事の精神を築く、素晴らしい経験が今役に立ちます。それだけではなく、オイスカインターナショナルの大家族であることを誇りに思います。私を作ったオイスカの皆さん、スポンサーの皆さん本当に感謝申し上げます。



私の裏庭の野菜

日本からの大学生



CFP の仕事をしたときの様子



日本からの大学生が村の人と伝統的な料理を一緒に作る様子

OB 研修生の紹介コーナー ③

皆さん、Ederisa Chavez です。ニックネームはリザです。2001年～2002年の家政研修生でした。研修生当時は

22歳で、現在40歳になりました。国へ帰って色々な仕事をしました。私のふるさとにはオイスカの研修センターが無いので、日本での研修の後、マニラのネットワークホテルで働きました。家政研修生ですので、そうして、日本語は少し出来て、このホテルで勤めることが出来ました。現在、フィリピンの西ミンドロに住んで、幸せな家庭を持って、娘が3人居ます。長女は10歳、次女は5歳、末子は1歳です。自慢の娘達です。現在の仕事は家族経営をしています。主人の水補給所を手伝っているのと主人のお母さんの理髪店を管理しています。日本での研修は私の人生に大きな成果がありました。私はどんなタイプの人々にも対応できることで私は自信を持てるようになりました。それだけでなく、マニラで有名なホテルで働くことが出来ました。今、結婚して、子供達に日本料理を作ります。私の娘達がみそ汁が大好きで誰かマニラへ行く友達などが居たらみそを買ってもらいます。オイスカサポーターの皆さん、西日本研修センターの先生方へ、今センターに居る研修生のサポートをよろしくお願い致します。研修生達も、頑張ってください。日本に居る間に時間を大切に使って、色々を勉強してくださいね。

(左～右)長女、次女、末子と差し込み写真は主人



理髪店で撮った写真



水補給所のワーカー達と一緒に撮った写真

室町ケミカル新入社員研修

4月17日(水)～20日(土)まで大牟田市にあります室町ケミカル(株)の新入社員12名(男7名、女5名)を対象に3泊4日で研修を実施しました。規律訓練や農業実習、ニワトリの解体、福岡タワーまで23kmの歩行訓練などオイスカの独自のプログラムを行いました。最後はソフトボールで交流などして研修生ともすっかり打ち解けることができました。

これから社会人として忙しくなったり、辛いこともあると思いますが、企業で一生懸命頑張ってください。そしてまた研修生にも会いに来てください。
(安東)



トヨタ部品福岡共販新入社員研修受入れ

4月13日(土)、トヨタ部品福岡共販の新入社員11名(+引率1名)の受入れを行い、センター入所したばかりの新研修生と一緒に交流を深める機会を持ちました。

1日のスケジュールで、午前は各国料理づくり体験から始まり、昼食をはさんで午後からは国の紹介や農業体験でカボチャの植え付け作業を行いました。

最初は緊張した面持ちの新入社員の皆さんも、後半は研修生とだいぶ打ち解けて、言葉がなかなか通じない中でもお互いに交流を深めることが出来ました。(豊田)



アテナの「私に言わせて」



新研修生がセンターに来所しました。ここに入ってからまだ指で数えるぐらいです。でも、みんながセンターの生活が慣れてきた気がしました。不安とコミュニケーションの問題が心の中に少しあるかもしれませんが、みんなの笑顔がとても素晴らしいです。5月4日にドンタクフェスティバルの初めてのステージのため、夜、1日おきに練習があります。みんな仲が良く、練習が始まると楽しくやっています。現在、天気がコロコロ変わっていますが風邪を引かないように祈っています。研修生の皆さん、1年間頑張ってくださいね～！



練習の様子

杷木町林田地区仮設住宅炊き出しボランティア参加

4月25日(木)、昨年に続いて九州電力福岡支店からの依頼で、朝倉市杷木町にある林田地区仮設住宅に炊き出しのボランティアに参加してきました。

今回のメニューは、フィリピンスタッフ、リナの特製パンシットとシニガンスープ、家政研修生エルの特製ナシゴレンを準備し、仮設住宅に住んでいる30名ほどの方に料理を振る舞いました。

料理を食べた方は「とても美味しい」と言ってお替りをする方や、袋に入れて持ち帰る方もあり大好評でした。林田地区の仮設住宅は話によると8月で閉鎖し、その後は皆さん、元の住宅や新設されたアパートなどに移ることになるそうです。

炊き出しボランティアは今回で最後になるかもしれませんが、杷木町の皆さんとの交流を今後も続けながら、皆さんに元気を届ける事が出来ればいいですね。(豊田)



体験農園ふるさとだより

今年も夏野菜の栽培の季節がきました。4月20日には大勢の方に来ていただき、トマトやナス、キュウリ、ピーマンなどの野菜の苗を定植してもらいました。

その時に植えた苗は、現在グングン成長を続け、今月の末にはキュウリの収穫がスタートします。

昨年は、7月に脇山地区を集中豪雨が襲い、体験農園は浸水し、多くの野菜がだめになりました。毎年襲いかかる災害に対し、どのように被害を最小限に食い止めることが出来るのか、

具体的な対策は十分にとれていませんが、まずは植えた野菜たちがたくさんの実を結ぶように、楽しく管理をしていきたいと思っています。

「こんなに美味しい野菜初めて食べた」や「やっぱり体験農園の野菜は違うね」と言った感想をたくさんもらえるように今年も頑張ります。(豊田)



研修生の表敬訪問

4月21日に福岡県庁、福岡市役所、早良区役所、三菱UFJ銀行福岡支店の4カ所を表敬訪問させていただきました。OB 研修生のデリックさんは研修生代表として挨拶をし、日本で頑張りたいことや帰国後の夢を話してくれました。研修生達は日本語がまだほとんど分かりませんが、意見交換の際に積極的に職員のみなさまと話をしていました。日本の印象について聞かれた際には「道にゴミがなくてきれい」「みんな親切」といった答える研修生が多かったです。これから1年間の研修でどのように成長するか楽しみです。お忙しい中、表敬訪問の機会をいただきありがとうございました。今年もご協力お願いいたします。(園田)



福岡市役所



早良区役所



福岡県庁

対面式

4月9日に研修生が入所し、10日に対面式を行いました。今年は12の国と地域から18名。(5月3日にチベットの研修生がきてようやく全員揃います！)研修生は緊張した様子で、覚えてたの日本語で自己紹介してくれました。日本語も英語もわからずコミュニケーションをとるのが難しいことありますが、毎日日本語の勉強をしているので少しずつ会話ができるようになっていきます。まずは2カ月の基礎研修で日本語をしっかり勉強して、本研修に取り組めるようにみんなで頑張ります！(園田)



美味しいイチゴがたくさん

オイスカ西日本研修センターの今季のイチゴの生育状況は新しい時代到来(平成から令和へ)にふさわしい順調な経緯を辿っているプロジェクト。

ここ過去数年のイチゴはアザミウマ虫、あぶら虫、うどん粉病などに罹災し、本来の成果を得られなかった。しかし今季は豊田副所長の先手先手の対策を講じて頂いたお陰で4月末現在、未だ新しい芽が出て、新しい花が咲き続けている。

毎日ハウスに作業に行くのが楽しみであり、まさに生き甲斐になっている。おそらく、ここ数年の実績の2倍から3倍の成果を素晴らしい最終実績として報告できること間違いないと期待している。(鬼木)

イチゴがたくさん取れているので鬼木さんがもっと元気になっている



このイチゴを誕生日などのケーキに使います

茶摘み大会のご案内

今年も茶摘みの季節となりました。

日本の茶の発祥の地であるここ脇山で、昔ながらの手摘み作業を体験し、地元に伝わる昔ながらの釜炒りの製法で製茶する作業を体験します。皆さん、是非釜炒り茶の香りと味を楽しんでみませんか。沢山のご参加お待ちしております。

【内容】

日時:令和元年5月18日(土)午前9:00 センター集合

場所:茶摘み作業(板屋茶畑)

製茶作業(オイスカ西日本研修センター)

参加費:500円(昼食としてかしわおにぎりを準備)

＜スケジュール＞

9:00 オイスカセンター集合

10:00 茶畑着、茶摘み開始

12:00 昼食、製茶作業

13:30 終了、解散

(お申込先)オイスカ西日本研修センター(担当:豊田)

TEL 092-803-0311 (携帯)090-5742-0324



退職のごあいさつ

この度、私こと3月末日をもちまして公益財団法人オイスカ西日本研修センターを退職いたしました。昭和43年、研修センター開設より在職50年、先人をはじめ、皆様の温かいご指導、ご厚誼を賜わり、今日の日を迎えることができましたことを心より感謝申し上げます。

この間、多くの海外研修生とのふれあい、皆様との出会いは私には何にも代えがたい貴重な賜物となりました。

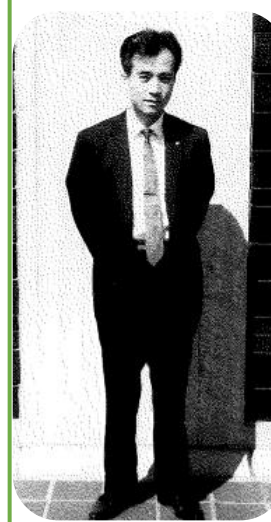
永きに亘るご厚情に重ねて、深謝申し上げます。

ここに退職のご挨拶とさせていただきます。

末筆ながら、皆様のご多幸を祈念申し上げます。

平成31年4月

友池 恒生



昭和36年



昭和49年



パラオ研修生のジョセフさんと一緒に撮った写真

昭和57年

